

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

**事業所名**

グループホーム 心

日付 平成 21年 2月 16日

特定非営利活動法人

**評価機関名**

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験8年

評価調査員 在宅介護経験10年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

**1. 評価結果の概要**

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)

前年度の訪問時は、風の流行時であったために会えなかった利用者がいたが、今回の訪問では全員が元気で、日頃の明るく活動的なホームの一日を見せてもらった。高齢の利用者も多く、少しずつ重度化は進んでいるが、比較的要介護度が軽い人が多く、自分の好きなことに取り組んでいる人がいたり、仲間同士で話をしたり、歌を歌ったりしている人がいた。

ホームの朝は全員でする掃除で始まるとのこと。その後体操もみんなで行っている。その日の生活にリズムを作り、利用者の能力の維持向上を目指して、全員での取り組みをしている。また、個人の好みを生かした取り組みを支えていくこともしている。自室ですばらしい絵を描いている人や、編み物をする人、調理手伝いなどの家事をする人たちには、その作品や出来栄をしっかりとほめたり、歌の好きな人とは職員も一緒に歌ったりして、利用者が生甲斐として喜べる気持ちを持たせてあげている。

また、「姉ちゃん、姉ちゃん、どこですか？ホーホーホーどこですか？」「ここです、ここです、ここですよ！」という全盲の人と職員との音頭をとった楽しいやりとりがあり、声かけや触れ合うだけで安心感を与えられる家族のような信頼を、利用者が職員に寄せていると感じた。この信頼を得るまでには時間もかかったとのこと。利用者一人ひとりの経歴や状態、その人の思いを十分把握した上で、その人に必要なケアは何かを、職員間で十分に話し合っ取り組んだ結果の表れだと思う。

一人ひとりについて十分なアセスメントをするなどして作成した介護計画、判りやすく詳しいよく工夫された記録も、利用者のケアをさらに向上させていく元になっていると思う。また、家族には利用者の様子を知らせるすばらしい『たより』を送っている。

大きな法人の枠の中で受けられるありがたい支援や交流があるが、一方で地域住民との距離はまだ遠いのが現状である。運営推進会議での話し合いを少しずつ進め、今後の地域交流の手がかりを掴もうと取り組みをしているところである。利用者と地域との双方にとって意義ある交流ができるようになることを期待する。

**特に改善の余地があると思われる点**

法人全体は地域住民を招いた行事や講習会を開き、地域貢献と地域交流に心がけている。ホーム自体もその行事に参加することで、地域の人との触れ合いをすることはできる。しかし、住宅地域とは距離があり、日常生活上での触れ合いはない。そのため、運営推進会議で地域交流についても少しずつ話し合い、交流の活性化を模索している。ホーム利用者の社会性やホームでなければできない社会貢献として、どんなことをすればよいかをしっかりと話し合い、一歩ずつ新たな取り組みを続けて欲しい。屋外スポーツに地域ボランティアの参加を頼み、一緒に楽しむ企画などはどうでしょうか。

## 2. 評価結果(詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：法人の目指す「安心・信頼・満足のあるサービス」の理念の基に、ホームとしてもその人らしさを大切にしたいサービスを心がけている。</p> <p>2. 全体的に見て…：高齢者ケアの分野において地域のニーズに応えるため、法人全体が設備とサービス内容の充実に力を入れている。ホーム職員も法人の方針に従いながら、利用者と共に生活をしていく中で、心に視点を置き、利用者のその人らしさを大切に、その信頼を得て、生き生きと暮らしてもらえるケアを目指している。</p> <p>また、地域との自然な交流ができるホームを目指し、少しずつ運営推進会議での話し合いを進めているところである。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：建物の構造とその周辺の環境、また内部の装飾や利用の仕方は、利用者が落ち着いて生活できるよう十分に配慮している。</p> <p>2. 全体的に見て…：ホームの建物は居室・リビング・廊下など広々としており、明るい大きな窓からは山々の景色が眺められ、ゆったりと穏やかな雰囲気をもたらしている。窓辺に並んだソファや椅子・和室の掘り炬燵は、仲間同士のんびりと自由に過ごせる場所となっている。法人の敷地は広く、住宅地域との隔りがあるが、景色を楽しみながら安全に散歩できるすばらしい環境である。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にしたい整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：職員間で目指すケアについてよく話し合っており、利用者や家族の思いを大切にしたいケアを心がけている。</p> <p>2. 全体的に見て…：職員は利用者一人ひとりについて性格や経歴を十分に把握し、その人の気持ちを大切に、利用者が生き生きと生活できるよう、身体ケアはもちろんのこと様々な面から支援している。全員のひとと職員が「姉ちゃん、姉ちゃん、どこですか?」「はい、ここです。ここですよ。」と音頭とりでやり取りしているように、利用者も職員を信頼していることがよくわかる。また、利用者の機能維持向上を図るために、全員で掃除や体操をしたり、歌や絵などその人の好きなこと、できることをさせてあげる支援をしている。</p> <p>介護計画の立て方や記録のとり方は明確であり、利用者のケアに役立っている。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1. 自主評価について…：職員の研修・災害対策・地域交流などに法人全体が力を入れているため、強力な支援が受けられるというすばらしい面がある。その上にホーム独自の取り組みをするのは中々難しい面もあるが、ホームの利用者の社会性のためや、グループホームでなければできない地域貢献のための交流もあると思う。それを運営推進会議で話し合い、少しずつ新たな取り組みを続けていってほしい。</p> <p>2. 全体的に見て…：今年度から新たに、ホームから家族へのたよりを毎月送るようになった。これは利用者の個別の状況や写真のほか、職員と管理者のコメントを入れたもので、詳しくよくわかり、家族にとってはとてもありがたいものだ。すばらしい取り組みに家族は喜んでくれていることである。行事などホーム全体の話題も入れることによって、家族からの意見も出やすくなるのではないかとと思う。</p>		